

岡崎市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
令和8年度(2026)~令和17年度(2035)

岡崎市は、矢作川流域に人の営みが始まり、古より交通の要衝として、古代には三河国の成立、中世には源氏・足利氏の武家文化の重要拠点、そして近世には江戸幕府の礎を築いた徳川家康公の生誕の地・岡崎城下町として栄え、その長い年月の中で様々な歴史文化を形成してきた。

13件もの重要文化財(建造物)を始め、数多くの歴史的建造物にも恵まれ、八丁味噌造りを代表とする伝統産業や、花火や山車が巡行する地域固有の祭礼行事等が、今なお市内各所で連綿と継承され、周辺市街地と一体となって岡崎市固有の歴史的風致を形成している。

01. 家康公生誕の地にみる歴史的風致

壮厳な佇まいの松平氏・徳川家ゆかりの寺社を中心に、家康公の偉業を称える様々な顕彰活動や伝統行事が行われ、郷土の英傑を輩出した生誕地として市民の大きな誇りとなっている。

大樹寺三門▶



02. 東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致

古より交通の要衝となってきた東海道沿いには、松並木、常夜燈、一里塚、宿場のまちなみが当時の面影を残すとともに、地域の人々に大切に守られてきた祭りが毎年行われるなど、歴史と伝統を今に伝えている。

藤川の松並木▶



03. 瀧山寺鬼祭りにみる歴史的風致

鎌倉時代、源頼朝の祈願に始まると伝えられている瀧山寺鬼祭りは、旧暦正月7日に行われる火祭りで、重要文化財の滝山寺の境内地を舞台に鬼が乱舞する勇壮な祭りとして、地域に受け継がれている。

瀧山寺鬼祭り(火祭り)▶



04. 岡崎城下の三大祭りにみる歴史的風致

江戸時代の町割りの一部や社寺の境内がそのまま残る旧岡崎城下を舞台に、当時から連綿と行われてきた華やかな祭りが、往時の賑わいを感じさせている。

能見神明宮の山車舞台での奉納の舞▶



05. 郷土食の八丁味噌造りにみる歴史的風致

旧東海道を挟んで建つ2軒の老舗が昔ながらの伝統製法により製造する豆味噌は、かけがえのない故郷の味であり、まちを歩くとほのかに漂う味噌の香りとともに、蔵造りのまちなみ景観が風情を漂わせている。

味噌蔵での石積み▶



06. 六ツ美地区の稲作儀礼にみる歴史的風致

古くから農業が盛んな六ツ美地区には、「御田扇祭り」、「六ツ美悠紀斎田お田植え祭り」の稲作儀礼が受け継がれ、田園地帯の集落の風景に農作業や祭りを行う人々の営みが調和している。

六ツ美悠紀斎田お田植え祭り▶



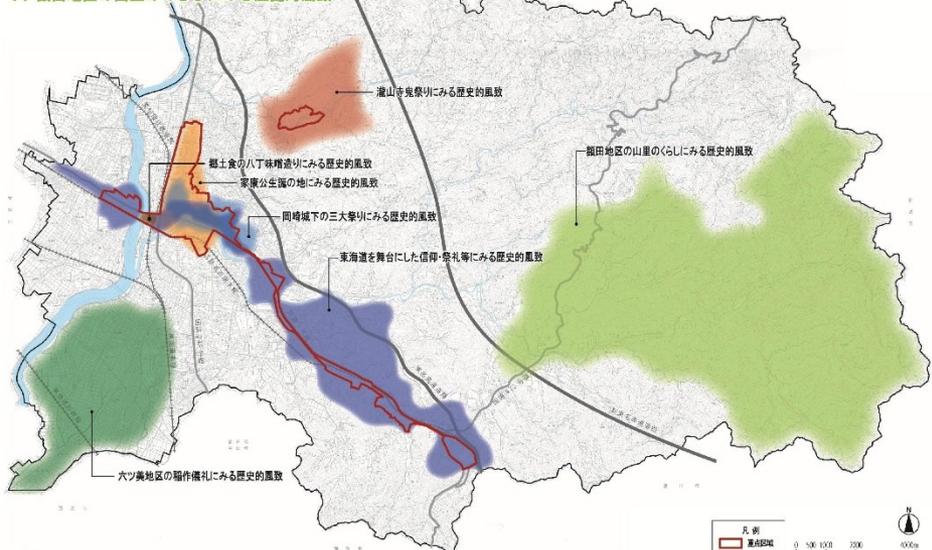
07. 額田地区の山里のくらしにみる歴史的風致

市東部山地にある額田地区では、自然条件に適応して営まれてきた様々な民俗行事が、社寺や集落を舞台として伝えられ、個性豊かな山里のくらしが今も息づいている。

須賀神社から神明宮への祭礼山車巡行▶



1. 家康公生誕の地にみる歴史的風致
2. 東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致
3. 瀧山寺鬼祭りにみる歴史的風致
4. 岡崎城下の三大祭りにみる歴史的風致
5. 郷土食の八丁味噌造りにみる歴史的風致
6. 六ツ美地区の稲作儀礼にみる歴史的風致
7. 額田地区の山里のくらしにみる歴史的風致



岡崎市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積
 01.岡崎城下及び東海道地区 約780ha
 02.滝山寺地区 約64ha

重点区域において歴史的風致維持向上施設の整備や歴史的風致形成建造物の維持管理など様々な事業を実施し、歴史的風致の維持向上を図るとともに、市域全体においても各種の歴史まちづくり事業を実施して、「未来へつむぐ 歴史まちづくり」を進めていきます。

1. 歴史文化資産の調査研究と普及啓発の推進

1-1. 岡崎城跡発掘等調査事業

市指定史跡岡崎城跡の価値を高め、保存・活用することを目的に、発掘調査や文献調査等の詳細調査を実施する。



■岡崎城跡(坂谷曲輪)

2. 歴史や伝統を反映した活動の継承への支援

2-1. 無形民俗文化財等調査支援等事業

民俗文化財の調査や記録、情報発信、また、民俗文化財の伝承活動等を支援することにより、文化財の保存・継承及び地域の活性化を促進する。



■滝山寺三門から本堂への行列

3. 歴史的建造物の保存・活用の推進

3-3. 歴史的建造物保存修理・修景事業

文化財建造物の保存修理や、景観重要建造物又は歴史的風致形成建造物の外観の保全等に係る修理・修景に対して支援する。



■歴史的風致形成建造物(修景後)

4. 歴史的建造物の周辺等における良好な市街地景観の形成

4-2. 道路美装化事業

「八丁地区」等の景観形成重点地区内の旧東海道等について、脱色アスファルトや石畳風の道路舗装など美装化の整備等を行う。



■市道中岡崎8号線(整備前)

5. 歴史文化資産を活かした地域活性化や観光振興の展開

5-1. サイン・案内板整備事業

歴史文化資産の周辺など来訪者の多い場所において、歴史文化資産の紹介や観光ルート等に関する案内板の新設・改修・修繕を行う。



■歴史文化資産解説板

